



ナイストライ

平成30年度 第4号
瓜生小学校校長室だより
H30.6.29 (発行者 田中)

今年度も地域・家庭・学校連携防災訓練を実施

昨年度初めて学校、PTA、地域づくり協議会（環境安全部会・日赤奉仕団）の三者が連携した防災訓練を実施しました。昨年に町の防災訓練が瓜生地区で行われる予定でしたが、台風の影響で中止になっています。近年の気象状況は様々な要素により、予測が困難になっています。18日には大阪北部を震源とする地震も発生しました。今回は全校児童が登校した時間帯だったので掌握が出来ましたが、登校中だったらと思うと冷汗ものです。そんな中、グラウンドで遊んでいた男の子5人が揺れを感じたとき、遊びをやめてグラウンドの中央に、低い姿勢で集まっていた。非常時に子ども達だけで、的確な行動がとれていたのが感心しました。ますます学校は、防災教育の充実と安全で効率的な保護者への引き渡しを模索していくことが必要となっています。



今年度も6月23日（土）に、大規模災害（大地震）が発生した場合の対応を、地域関係者・家庭（保護者）・学校のそれぞれが何をすべきかを話し合い、実際に想定通りできるかを確認しました。

地域関係者は、煙体験と防災に関する〇×クイズを準備していただきました。家庭（PTA）と日赤奉仕団は、低学年と高学年に分かれて、非常食を作る体験を準備していただきました。

学校は、避難訓練と保護者への引き渡し訓練を行いました。玄関への進入路や引き渡し後の通行を一方通行にし、保護者に協力を呼びかけました。次回非常時にはスムーズに対応ができそうです。



今回、多くの方々の協力をいただき、防災教育とその対応を確認することができました。特に保護者の皆様には、ご協力をご感謝申し上げます。

今回の訓練は、地域関係者、家庭、学校が連携して実施されました。今後も、地域関係者、家庭、学校が連携して防災訓練を実施してまいります。

校長のつぶやき

ある新聞で【「よくがんばったね」は、いい言葉だなと思った。「がんばれ」という言葉が持つ無責任さとは正反対だ。過去と現在を肯定する優しさにあふれている。】と出ていた。「がんばれ」がどうして無責任なのか？投稿者が言うには、「先の見えない未来に向けて努力を強いる」からだ。「がんばれ」は何かに向かって調子のよい人にも、ちょっと停滞している人にも、都合よく使われる。まじめで、能力があり、責任感の強い人ほど物事を完全に成し遂げようとする。それがために、うつ病にかかるという。

そういうときこそ、「よくがんばっているね」「無理をしないでね」と、すくい上げるような、現在までを肯定する言葉が有効になる。私もこのことを意識していきたい。

7月の主な行事予定

- 13日（金）1学期教育懇談会
- 14日（土）4年学級 PTA
- 14日（土）5年学級 PTA
- 15日（日）3年学級 PTA
- 19日（木）1学期給食最終日
- 19日（木）集落児童会
- 20日（金）1学期終業式
- 20日（金）学校集金日
- 21日（土）本日から夏季休業
- 26日（木）5年自然教室
- 27日（金）5年自然教室

8月の予定

- 13～15日 学校閉庁
- 26日（日）PTA 奉仕作業